



学びのための情報リテラシー (仮題)

●制作中のため、タイトル・発売時期・価格等は一部変更になる場合があります。ご了承ください。

■ 総監修：公益社団法人日本図書館協会

■ 監 修：野末 俊比古（青山学院大学 教育人間科学部教育学科 教授）
仁上 幸治（図書館サービス計画研究所 代表）

■ 制作著作／発行：丸善出版株式会社

2025年夏
発売予定

作品の特徴



大学全学部、公共図書館が対象



大学での学びを知り、情報を**収集・分析・評価**するところから、レポート・論文の執筆、プレゼンで発信するところまで、情報リテラシーを体系的に学べる



スマートフォンの普及により大きく変化した、大学生の情報環境に対応



大学での講義形式・発表形式の多様化に対応



進化し続ける**図書館**環境
(ラーニングコモンズや検索サービスなど) に対応

図書館のガイダンスや情報リテラシーの講義で学ぶ知識や考え方をコンパクトにわかりやすくまとめた映像教材。総合メディアセンターである“図書館”をベースに、大学で学ぶことの意味、図書館の活用法、情報の収集から発信といった、大学生や社会人のための情報リテラシーの考え方をドラマ仕立ての物語を織り交ぜながら解説。インターネットでの検索にとどまるものではなく、図書、雑誌、記事などを含めた“総合的な情報の活用”ができる能力を身につけることを目標としています。大学の講義で映像とともに使用できるテキスト（別売）も製作予定です。

DVD 全3巻

各巻本体予価：42,000円+税

セット本体予価：126,000円+税

丸 善 出 版

学びのための情報リテラシー (仮題)

大学・専門学校の教材として

- ・初年次教育、情報リテラシー教育
- ・図書館ガイダンス、図書館情報学概論、司書課程の講義
- ・授業での上映、自宅での自習、学校図書館内個人視聴

公共図書館で利用者に向けて

- ・図書館の利用方法、情報の収集方法について学べる
- ・上映会、館内個人視聴、貸出

第1巻

大学における学びと情報の活用

- 1 大学における学びとは（主体的・探究的な学習、単位とは、カリキュラムに沿った学修）
- 2 学びのための情報（授業時間外の学習（課題）、情報とメディア、学習のための情報源）
- 3 図書館を知る（情報とメディア、学習の為の情報源、図書と雑誌の違い）
- 4 図書館にある資源とは（蔵書、各所備品、ラーニングコモンズ、レファレンスサービス、公共図書館との違い）
- 5 図書館を使う（資料探索の手順、OPAC、一次資料と二次資料、参考資料と一般資料）

第2巻

情報の探索・収集・分析

- 1 情報利用（学習）10のプロセス

プロセス1 テーマの選択	プロセス2 事前調査
プロセス3 仮アウトラインの作成	プロセス4 関連文献の調査
プロセス5 文献の入手	プロセス6 文献の読解と整理
プロセス7 最終アウトラインの作成	プロセス8 執筆・校正
プロセス9 出典の表示	プロセス10 仕上げ
- 2 研究の計画を立てる（プロセス1）
- 3 研究（調査）の方法（プロセス2・3）
- 4 文献（情報）を探索・収集する（プロセス4・5）

第3巻

情報の整理・編集・発信—アウトプットの技法

- 1 情報利用（学習）10のプロセス振り返り
- 2 文献（情報）を読解・分析・考察する（プロセス6）
- 3 追加調査と最終アウトライン（プロセス7）
- 4 モラル・倫理（プロセス8）
- 5 典拠の提示（プロセス9）
- 6 プレゼンテーション（プロセス10）

※ 制作中のため、タイトル・発売時期・価格等は一部変更になる場合があります。ご了承ください。

■ 発行

丸善出版株式会社 営業部

お問い合わせ・ご注文は下記までお願いします。

お客様に支えられ おかげさまで 44 年！
世界の語学教材・映像資料をお届けします

株式会社 **日本外語協会**

〒135-0021 東京都江東区白河 4-9-16-1503

電話 03-5646-5324 FAX 03-5646-5325

info@gaigo.co.jp <https://www.gaigo.co.jp>